



▲ たちばな 1月号

〒793-0065 西条市榑木 54-1
Tel (0897) 57-9543 FAX (0897) 57-6221
eメール tachibana-k@saijo-city.jp


令和3年1月1日
橋公民館発行
通巻481号

橋校区の人口(11/30現在)
総人口 1,832人 (-4)
(男 893人) (-2)
(女 939人) (-2)
世帯数 827 (-3)

年末年始のゴミ収集
12月31日(木)~1月3日(日)
ゴミ収集はお休みです。
年明けの収集時間は、大幅に変わることがありますので、必ず**午前8時まで**に出して下さい。

1月の行事予定		
日	曜	公民館関係・地区行事
1	金	休館日 (元旦) 
2	土	休館日
3	日	休館日
4	月	休館日
6	水	民生児童委員定例会 (19:30~) 防犯協会定例会
8	金	さわやかクラブ世話人会 (13:30~)
11	月	休館日 (成人の日) 
12	火	休館日 (振替休館日)
17	日	休館日 (臨時休館)
18	月	休館日
19	火	食生活改善推進協議会 交通安全協会定例会
21	木	いきいき橋 (新春講話)
24	日	休館日 (臨時休館)
25	月	休館日
31	日	休館日 (臨時休館)

謹賀新年 旧年中は、温かいご指導ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も、皆さんと共に活力あふれる橋を目指し活動いたします。
《橋公民館 職員一同》

ギャラリー橘 
1月・2月はサークル『たんぽぽ』の
絵手紙を展示します。ぜひご鑑賞ください。

健康教室「膝痛予防」
12月17日(木) ~ いきいき橋 ~
膝痛原因や日常生活における注意点の講演後、予防するための体操を教えてくださいました。



友愛訪問
12月4日(金)
さわやかクラブの皆さんが友愛訪問を行い、プレゼントを届けました。温かい心がつながる時間となりました。



事前の備えを万全に!
橋公民館北側に新たに防災倉庫が設置されました。いざという時に備えて、災害時に必要な機材を保管しています。



花づくり活動 12月11日(金)
さわやかクラブの皆さんが、公民館の花壇を秋冬の花に植え替えてくださいました。
お正月の縁起物としても親しまれている千両や百両、葉牡丹、色とりどりの花たちが利用者の目を楽しませてくれています。



しめ飾りづくり
12月21日(月)
橋小学校5年生がさわやかクラブの皆さんと『しめ飾り』づくり。葉をなうのは難しく、何度も教えていただきながら、最後まで頑張って世界に一つだけのしめ飾りを完成させました。



ガードパイプ新設
11月29日(日)
橋小学校児童生徒をまもり育てる協議会が、通学路の安全対策として坂元に安全柵の設置を市役所へ要望していたところ、ガードパイプ(24m)が設置されました。



1月 ローソン 移動販売

6日(水)	1. 15:00~15:15	野々市集会所
13日(水)	2. 15:20~15:35	榑木西
20日(水)	3. 15:40~15:55	榑木集会所(阿弥陀堂)
27日(水)	4. 16:00~16:15	西泉中
	5. 16:20~16:35	西泉東(民部さん)
	6. 16:40~16:55	西田(旧集会所)
	7. 17:00~17:10	相生

マイバックをご持参ください 

令和3年西条市成人式を延期します
令和3年西条市成人式につきましては、公民館だよりで予定どおり開催すると掲載しておりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、新成人及び市民の皆様の健康と安全を最優先に考慮し、延期することと決定いたしました。
なお、延期の時期等については未定です。皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。
問合せ先 西条市教育委員会 社会教育課 社会教育係
電話0897-52-1254 (係直通)

■ とうどかきくらべ大会中止のお知らせ
「とうどかきくらべ大会」は、コロナ禍での感染防止の観点から中止といたします。
■ 開催中止のお知らせ
「第16回西条市公民館フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止となりました。

一月の俳句「冬」

石鏡に初冠雪や屋根終い
蒙古系白いマスクがよく似合い
涸れ川の江戸期の暗渠冬ざるる
酒れ川の江戸期の暗渠冬ざるる

詠み人知らず

橘の由来(2)

古くから「花たちばな」とか「やまとたちばな」と呼ばれ人々に愛されてきた橘の木は、京都の平安神宮や御所の紫宸殿に「左近の桜右近の橘」として植えられ今なお季節には美しく咲き誇っており、また3月3日(雛節句)の雛段の5段目には左右に飾られています。古い小学唱歌で「たちばな香る朝風に…」などと歌われているように「橘」とは誠に美しい佳字であると言えます。

「たちばな」は、元来植物名であります。地名・人名・寺名・氏族名などにも使われるようになり、『文徳実録』に「伊予の橘の里」と出ているのは、姥橋伝説に出てくる檜木の地であり、人名には橘嘉智子(嵯峨天皇の皇后でのちの檀林皇后)や平安時代三筆の一人である橘逸勢、寺では聖徳太子が生まれたと伝えられる奈良の橘寺、氏族としては源・平・藤・橘の四姓と言われた橘氏と数え上げればたくさんあります。



写真上：橘の木(平成19年植樹)

郷土出身の大倉桑馬氏(1866~1954)の『伊豫路のふみ賀良』には「立花郷に立花氏あり、一に橘氏と称す。源平時代、地方の武人が自ら郷土の地名を冠する習あり。当時立花四郎親家と号し、寿永の変[1182年の長門(現山口県)壇ノ浦の戦い]に出陣し、相州(現神奈川県)和田郷住人和田小太郎義盛と遠矢を競いたること平家物語に見ゆ。蓋し、伊豫越智郡及び温泉郡にも立花郷あり、之と区別せんが為め故に新居立花ノ四郎と称せしならん。後人誤りて新居ノ橘四郎と云ふ。」『小松邑誌』は橘四郎は「新居殿」の裔なりと記す、新居氏の族たるを知るべし。また天慶の乱(941)に藤原純友を斃して功名を揚げ橘遠保も亦立花郷の武人たらん。」とあります。

明治8年(1875)に開校して以来、橘小学校は130有余年の歴史を刻んできました。その象徴は、樹高20m余りの楠であり芳香を放つ橘であります。難波江久子さん(西田在住)作詞、阿蘇国光先生作曲の橘小学校校歌の3番では

“強く仲良く まなびやに、 励むぼくらだ わたしらだ
ふるさと遠く はなれても 花の香高い 橘の
学びのにわは わすれまい”

と歌われています。

平成19年5月、校庭には無くなった橘の木を、丹吉郎氏(檜木西在住)より譲り受け、旧奉安殿の西側の土手(現在のプールのすぐ南側)に植えることができました。楠の木と共に地域の象徴である橘の木を、生徒と共に地域の皆さんで大切に育てて欲しいものです。

橘村の成り立ち(1)

江戸時代の初め 新居郡花郷(橘郷)は、現在の氷見・橘から成り立っていましたが、正保2年(1645)、檜木・坂元両村の庄屋・百姓等が願書をもって独立を請い、氷見村から檜木と坂元が分離独立しました。当時、檜木・坂元は別々ではなく両村合わせて300石余りの村でしたが、寛文元年(1661)に檜木村と坂元村になりました。坂元村の独立5年後と40年後の村の変化について、『坂元村庄屋古文書』(藤原騷雄氏蔵 西泉西)から比較してみました。

	家数	人数(男女)	石高
寛文6年(1666)	30軒	137人(男69・女68)	214石
元禄13年(1700)	36軒	177人(男93・女84)	234石

これより先、坂元村庄屋、黒川四郎兵衛の倅次郎左衛門は元和年中(1615~1623)西泉に出で土地を開墾し、檜木村辺の海を干拓していましたが村名はまだ成り立っていませんでした。



写真上：西泉新開から橘を遠望

『西條誌』に、寛文元年(1661)、西泉村は「檜木村の本畑と原地等の内を分けて在所百姓屋敷となす」とあり、橘小学校の川を隔て西側の広畠(小字名)を枝在所として檜木より分村しました。しかし、西泉新開が開かれてからは各地から入植者が移り住んで大きな村になってゆきます。新田開発に着手し、家数・人数が漸増しているのが判ります。

橘村の成立後、江戸末期と明治初めの村の変化を『西條誌』と『新居郡誌』より比較してみました。

天保5年(1834)~天保13年(1842)			明治4年(1872) 廃藩置県の年		
家数	人数	石高	家数	人数	石高
坂元村	54軒	211人	58軒	237人	234石
檜木村	36軒	137人	42軒	175人	206石
西泉村	116軒	480人	187軒	904人	993石
野々市村	約50軒	約200人			55石
西田村		990石			990石

野々市は「寛文2年(1662)、氷見村より西泉村に分遣わすと氷見村の帳面に見ゆ」と石岡神社の私記に記録されています。

西泉村の枝在所となった野々市は「この野原に於いて昔、四方より寄り会いて季冬(冬)の末に市を立つ 困って野之市というといえり。今、野々市と書くは、誤りなるべし。・・・組頭為平なる者の先祖、野々市原を開き畠とす。・・・宝永5年(1708)12月、君公御鷹野(鷹狩り)の序、御腰を掛けさせらる。庭にて熾に焚火し奉りければ、寒気を忘れてりと御悦びありて、銀錢5文之を下し置かる。永楽通宝なり。・・・」と『西條誌』に書かれています。